

・ディプロマ・ポリシーに特に強く関連するものは◎、関連するものは○を記入する。

科目名		ディプロマ・ポリシー	【1. 学識と研究能力及び高度専門職業能力】 生物生産科学分野に関する高度な専門知識を身につけ、1次産業のスマート化や6次産業化に展開する商業的基盤を深く理解し、自らの研究の背景や問題点を体系的に把握することにより、その結果を科学的に考察できる能力を有する。	【2. 豊かな人格と教養及び自発的意欲】 豊かな教養と高い倫理観・責任感を身につけ自立して行動できるとともに、科学的な議論を展開することができるコミュニケーション力を備え、持続可能な共生社会の形成に自発的に取り組む意欲を有する。	【3. 国際的発信力及び社会貢献】 生物生産科学分野の諸問題を分析し、その解決のため自らの研究成果を国内外に発信する能力を身につけ、1次産業の振興及び地域を発展させる産業創成に貢献できる能力を有する。	科目の教育目標	主要授業科目	
研究科共通科目	研究科基盤教育科目	データサイエンス	◎	○		1. データの性質を見極め、データから課題解決に役立つ情報を抽出できる 2. データに基づいて問題を考察し解決するプロセスを体験する 3. 専門の異なる人と協働して問題解決できる	○	
	グローバル教育科目群	国際協力論				◎	・文化を異にする地域に技術移転する際には、その技術を受容する社会の文脈理解が必要であるということを理解する。 ・グローバルな状況のなかで技術を社会実装する際に必要な社会科学的知識やスキルを身につける。	○
		グローバル社会文化論				◎	・グローバル社会に対応できる国際的な視点を身につけている。 ・グローバル化社会の課題について理解している。 ・グローバル化する文化について理解している。	○
		グローバルコミュニケーションA				◎		○
		グローバルコミュニケーションB				◎	1. 世界の先端技術・科学に関する専門的内容を学修し、国際的な技術動向や科学の実について理解を深める。 2. 先端技術・科学に関する専門的内容を英語で理解し、英語による表現力やプレゼンテーション力を深める。	○
		グローバルコミュニケーションC				◎	1. 先端技術・科学に関する専門的内容を学修し、外国の技術動向や産業の実情について理解を深める。 2. 先端技術・科学に関する専門的内容を理解し、英語によるコミュニケーション力を身につける。	○
	イノベーション教育科目群	科学技術論B			◎		1. 自らの専門とは異なる分野の問題の所在を説明できる。 2. 自らの専門とは異なる分野の問題について解決へのアプローチや評価の仕方を説明できる。	○
		科学技術論C			◎		1. 自らの専門とは異なる分野の問題の所在を説明できる。 2. 自らの専門とは異なる分野の問題について解決へのアプローチや評価の仕方を説明できる。	○
		科学技術論D			◎		1. 自らの専門とは異なる分野の問題の所在を説明できる。 2. 自らの専門とは異なる分野の問題について解決へのアプローチや評価の仕方を説明できる。	○
		科学技術論E			◎		1. 技術・科学に関する最新研究の知識を英語で習得する。 2. 異なる分野の問題の所在と、その解決へのアプローチを理解する。	○
		ビジネスモデル特論			◎		1. 技術や資源を活用したビジネスモデルの基礎的知識を習得する。 2. ビジネスプランを作成し、その内容を伝える能力を習得する。	○

科目名		ディプロマ・ポリシー	【1. 学識と研究能力及び高度専門職業能力】 生物生産科学分野に関する高度な専門知識を身につけ、1次産業のスマート化や6次産業化に展開する商業的基盤を深く理解し、自らの研究の背景や問題点を体系的に把握することにより、その結果を科学的に考察できる能力を有する。	【2. 豊かな人格と教養及び自発的意欲】 豊かな教養と高い倫理観・責任感を身につけ自立して行動できるとともに、科学的な議論を展開することができるコミュニケーション力を備え、持続可能な共生社会の形成に自発的に取り組む意欲を有する。	【3. 国際的発信力及び社会貢献】 生物生産科学分野の諸問題を分析し、その解決のため自らの研究成果を国内外に発信する能力を身につけ、1次産業の振興及び地域を発展させる産業創成に貢献できる能力を有する。	科目の教育目標	主要授業科目
専攻共通科目		生物資源学研究	◎	◎	◎	1. 研究に必要な基礎的研究リテラシーとスキルを習得している。 2. 修士論文のテーマを設定し、実験計画を立案できる。 3. コミュニケーション能力や自発的意欲を有する。 4. 高い倫理観・責任感を有する。 5. 多様な考え方や豊かな創造力を身につけている。	○
所属基盤コース専門科目・ 教育クラスター科目	生物生産科学コース	植物細胞工学特論	◎	○	◎	1. 植物細胞におけるDNAの合成、複製、組換えなどの代謝反応についてどのような仕組みによるのかに分子生物学、遺伝子工学の基礎技術などの研究を通して理解する。 2. 基礎的な研究動向を理解し、農作物などの育種への応用研究などについての国内外最先端研究の動向を理解する。 3. 現在の科学的背景を理解した上で、原著論文などの読解能力と議論やプレゼンテーション能力を高める。	○
		動物生殖工学特論	◎	○	◎	1. 家畜を中心とした種々の生殖工学技術における過去から現在までの発展過程を説明できる。 2. 生殖工学における問題点等について理解し説明できる。 3. 生殖操作に伴う生命倫理に関する考えを説明できる。	○
		フィールド水圏生物学特論	◎	◎	○	1. 地域個体群の保全方法や増養殖技術の開発等を目的として、水産増殖学や応用生態学の立場から研究する能力を身に付ける。 2. 水圏生物の生態解明方法や増殖方法の研究手法を理解する。 3. フィールド研究で使う簡単な実験装置が自作できる。	○
		畜産物利用学特論	◎	○	◎	1. 家畜飼養と畜産物生産の歴史と現状の問題点、課題、および最新技術を説明できる。 2. 畜産食品の基礎的な加工技術や、栄養、成分、機能的な特性を説明できる。 3. 食生活における畜産物、畜産食品の関わりや今後の展望が創造できる。	○
		植物保護学特論	◎	○	○	1. 植物の病害・障害について理解を深める。 2. 農作物や天然記念物を病害や障害による枯損から守る方法を習得する。 3. 貴重な自然植生や公園等の植栽を維持管理することの重要性と手法を理解する。	○
		森林代謝科学特論	◎	○	○	1. セルロース、リグニン合成機構を説明できる。 2. 木材腐朽菌によるセルロース、リグニンの生分解機構を説明できる。 3. 木材腐朽菌の炭素代謝機構を説明できる。 4. 外生菌根菌の炭素代謝機構を説明できる。	○
		分子発生物学特論	○	○	○	1. 個体発生の仕組みに関する研究について最近の動向を理解し説明できる。 2. 主要な研究手法について原理を理解し説明できる。 3. 発生物学の応用の可能性について考えを説明できる。	○
		生産システム制御工学特論	◎	○	◎	1. 光環境を利用した生物の制御方法について説明することができる。 2. 深紫外～近赤外領域の光を利用した最新技術やその技術動向について説明することができる。 3. 各自プレゼン発表を行い、学生間で互いに議論することで課題探求ができる。	○
		分子生態学特論	○	○	○	1. 扱う生物や知りたい生態的特徴に対して、どのような遺伝子マーカーを使用した解析を行うべきなのかを理解する。 2. 生物資源の保全に遺伝子解析から得られるデータの有効性について理解する。 3. 現在の日本における野生生物の保全へ対する取り組みの問題点を理解する。	○
		植物分子生物学特論	◎		○	1. 植物細胞に含まれるタンパク質および遺伝子などの生体高分子や代謝化合物などが、どのように生物の恒常性に機能するかその仕組みについて分子生物学、遺伝子工学の基礎技術などの研究を通して理解する。 2. 基礎的な研究動向を理解するとともに、さらに作物の育種など農学への応用研究など、国内外最先端の研究動向を理解する。 3. 現在の科学技術の取り組みを理解した上で、原著論文などの読解能力および議論やプレゼンテーション能力を高める。	○

科目名		ディプロマ・ポリシー	【1. 学識と研究能力及び高度専門職業能力】	【2. 豊かな人格と教養及び自発的意欲】	【3. 国際的発信力及び社会貢献】	科目の教育目標	主要授業科目
			生物生産科学分野に関する高度な専門知識を身につけ、1次産業のスマート化や6次産業化に展開する商業的基盤を深く理解し、自らの研究の背景や問題点を体系的に把握することにより、その結果を科学的に考察できる能力を有する。	豊かな教養と高い倫理観・責任感を身につけ自立して行動できるとともに、科学的な議論を展開することができるコミュニケーション力を備え、持続可能な共生社会の形成に自発的に取り組む意欲を有する。	生物生産科学分野の諸問題を分析し、その解決のため自らの研究成果を国内外に発信する能力を身につけ、1次産業の振興及び地域を発展させる産業創成に貢献できる能力を有する。		
		水産植物学特論	◎	○	○	1. 微視的な植物プランクトンから巨視的な大型海藻まで水産植物全般の分類、生理、生態について理解する。 2. 水産植物が我々の生活に密着して利用されていること、現在の研究事例から水産植物の多角利用について発展性が高いことを学ぶ。 3. 学生同士による水産植物の利用について協議し、より深い理解を達成する。	○
		農業市場学特論	◎	○	○	1. 農業市場論における基本的な分析視角を知る。 2. 農産物市場・流通を対象とした研究の現状・方向性を理解する。 3. 修士論文のテーマ設定を視野に入れた幅広い問題認識・意識を養う。	○
		森林生物学特論	◎	○	○	1. 森林に生息する菌類のうち、代表的なものの種名と生態、調査法などについて述べるができる。 2. 森林に生息する昆虫のうち、代表的なものの種名と生態、調査法などについて述べるができる。 3. 生物多様性に配慮した森林管理法について説明できる。	○
		発生生物学	◎	○	◎	1. さまざまな動物の胚発生過程を学び、共通点・相違点を理解する。 2. 発生生物学の研究で用いられる研究方法・実験手法を理解する。 3. 発生生物学の論文や発表の正確性について評価できる。	○
		農業経済学特論	◎	○	○	1. 農業経済を取り巻く諸問題を理解する。 2. 農業経済分野の諸領域に関する研究動向を把握する。 3. 修士論文のテーマ設定に向けた問題意識を養う。	○
		生物生産科学特別実習	◎	◎	◎	1. ビジネス展開へのアイデアと論理的思考により課題設定と問題解決ができる。 2. 農林水産物の地域特性と地域資源の客観的分析、さらに6次産業化に必要な知識を保有できる。	○
		生物生産科学特別講義	◎	◎	◎	1. 近代農業の過去から現在・将来までの発展過程を説明できる。 2. 6次産業における問題点等について理解し説明できる。 3. 農業ビジネスについてのマネージメントに関する考えを説明できる。	○
・教育クラスター科目	他コース科目		○		◎		
	他専攻科目		◎	○			
		生物生産科学特別演習	◎	◎	◎	1. 生物生産科学分野における最新の研究や応用展開に関する文献を探索できる。 2. 生物生産科学分野の最新の学術論文を理解し、その内容について発表・討議できる。 3. 生物生産科学分野の研究で用いられる最新の研究方法を理解し、それを活用できる。	○
		生物生産科学特別研究	◎	◎	◎	1. 修士論文の作成に向けた研究を主体的・能動的に実施できる。 2. 得られた研究結果の解析や解釈が適切にできる。 3. 研究成果を修士論文にまとめて発表できる。	○